



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU  
会津ワイズメンズクラブ  
CHARTERED ON FEB. 1993



2018～2019 年度主題

国際会長 Moon Sang Bong(韓国) 「私たちは変えられる」  
アジア地域会長 田中博之 (東日本区) 「アクション」  
東日本区理事 宮内友弥 (東京武蔵野多摩) 「為せば成る」  
北東部部長 涌澤 博 (仙台青葉城) 「チャンス到来 我ら北東部から世界へ」  
会津クラブ会長 青山孝男 「力の限り この地の塩として！」

<No.280 会津通信>  
2018年8月14日発行

会長 青山孝男  
副会長 高橋眞美  
書記 高橋真人  
会計 高橋真人

◇8月の聖句 ◇

ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。

マタイ福音書5章 15 節

8 月例会

日時:2018年8月14日(火)19:00～

場所:日本キリスト教団 若松栄町教会

司会:高橋眞美さん

- 1.開会点鐘 会長
- 2.ワイズソング 一同
- 3.会長あいさつ 会長
- 4.連絡・報告
- 5.聖句朗読
- 6.食前感謝
- 7.歓談
8. Happy Birthday! Happy Anniversary!  
3:高橋容子さん 20:高橋京子さん  
あかべこ
- 9.閉会点鐘 会長

<7月例会出席状況>

在籍者 5名 ゲスト0名

出席者 4名

\*例会出席率 80%

あかべこ 4,000円  
18-19年度合計 4,000円

《例会》

毎月第2火曜日 19:00～21:00  
若松栄町教会 (☎0242-27-3944)

再び被爆ピアノを迎えて

高橋 眞美

8月12日、第11回平和まつり～イマジン9 描こう 創ろう 平和な世界～のメインプログラムとして「未来への伝言 with 被爆ピアノ」が企画されました。被爆



ピアノが会津若松にやって来たのは2度目です。1945年8月6日、爆心地から1.8kmの地点で一人の少女が大切にしていたピアノが被爆しました。その被爆したピアノが被爆2世の調律師の手で再生した感動的な話を聞いたのが12年前でした。

会津若松市は「核兵器廃絶平和都市」を宣言しています。市は毎年8月の広島に市内13校から中学生を「平和記念式典」に参加させています。そして、毎年福島県退職女性教職員あけぼの会北支部の主催「青い空のつどい」で中学生の報告があります。その「青い空のつどい」に被爆ピアノと朗読者 飯島晶子さんとのジョイントを劇団シアターFが提案して実現したのが、2007年でした。そして今年再び被爆ピアノがやって来たのです。この10年ほどの間、被爆ピアノは全国各地で活躍し昨年ノベル平和賞授与式にまで出かけて行ったのでした。

☆ 強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う ☆

前回は「ミサコのひばくピアノ」の絵本が世に出る時でした。そして今回は「被爆ピアノ」が映画になります。10年前の被爆ピアノの音色が会場に響き渡ります。その音色は以前より明るく弾んでいるようにわたしの心に広がります。

被爆ピアノを持ち主から託された調律師・矢川光則さんは「被爆体験を語り継ぐ人がいなくなっても、ピアノの音色は語り継いでくれます」と語ります。この被爆ピアノが奏でる平和を伝える音色が日本中を彩る時、日本は「核兵器廃絶禁止条約」に署名する国になってほしい。そのために、今この時！に私はあなたは何ができるか真剣に考え、それぞれの立場で、それぞれの可能な活動を展開していきましょう。

(9月号は、高橋 力さん)

### 8月号報告(東日本区報より抜粋)

理事メッセージ

宮内友弥(東京武蔵野多摩)

西日本を中心に発生しました7月豪雨で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますと共にこれ以上の災害の拡大が無いことを祈ります。



新年度が始まり1ヶ月。各クラブでも本年度会長の元、気持ちも新たに、1年の計画と夢を描いておられることでしょう。

それぞれのクラブに有って、より良い社会にするとする夢に向かって良いお働きをしていただかなければなりません。どうぞこの1年、悔いのないよう存分にご活躍されることを期待します。

さて最新の半年報によりますと、直近の 884 名(2018.1.1)から 860 名(2018.7.1)で 24 名減の厳しいスタートと成りました。しかし7月には、既に甲府 21 クラブ 4 名(7/3)、宇都宮クラブ 2 名(7/3)、甲府クラブ 1 名(7/10)の入会式が行われ、その他にも入会式を予定されているクラブが有ります。今期の達成目標 1,000 名に向けて会員増強に邁進いただくようお願いします。猛暑が続いています。熱中症にお気をつけ下さい。

### 会津だより

#### 第 32 回少年の主張会津若松市大会に共催



会津若松文化センターで8月9日に開かれた大会に共催し、審査員と小学生の部の講評更には、小中学生の最優秀賞者にトロフィーの授与を行いました。小学生は 20 校、中学生は

13 校、12 時 30 分から日頃感じていることや多くの人に聞いてもらいたいこと、夢や希望、社会に対しての提言などを作文にまとめ堂々と発表した。審査基準は、論旨、論調、態度を採点した。最優秀賞に輝いた小学生の作品を次号より紹介します。

### 会津の先人たち(会津若松市 HP より)

#### 同志社大学の創設に協力

山本 覚馬(やまもと かくま)(1828~1892)

「管見(かっけん)」このころ、失明状態の覚馬は、会津藩や幕府さらに他藩にまで、欧米の脅威と国の融和を説きました。幽閉された覚馬は、国家構想ともいべき「管見」を著します。後に、明治政府の要人らにその先見性が高く評価されました。

東京遷都によって、京都の町民の不安は暴動にまで発展しました。京都府知事は、覚馬の企画能力を評価して、顧問に迎えます。覚馬は京都舎密局(しゃみつきよく)を設置し、外国人を招き、石鱈(せっけん)・ラムネ・ガラス・写真・印刷などの技術を取得しました。また、日本最初の博覧会「京都博覧会」を開催し、国内外に京都の物産と観光をアピールしさらに、日本最初の小学校・中学校の創設や病院の創設なども推し進めています。

#### 同志社大学の創設

10 年間の顧問の後、覚馬は府会議長・商工会議所会頭などを歴任、京都の振興に力を尽くしています。

晩年は、創立に加わった同志社英学校の代理総長などを務めますが、失明と病気を患いながら、明治 25 年(1892)65 歳で亡くなりました。次回は

世界的陶芸家を育てた女性  
板谷 まる(1870~1958)



☆ 今後の予定 ☆



18 日は町内会の盆踊り大会の予定です。昨年は雨天で中止、今年は開催出来そうです。(青山)

- ◇ 9月例会 9月11日
- ◇ ユニークダンス  
9月26日 午後7時~  
場所:アガッセ